

Nara Philharmonic Orchestra
The 58th Subscription Concert

奈良フィル

創立40周年

第58回
定期演奏会

2026.

4/18 (土)

開場13:30 / 開演14:00

いかるがホール・大ホール
(JR法隆寺駅から南へ徒歩9分)



指揮 — 阪哲朗
Conductor, Tetsuro Ban

R.シューマン /

交響曲 第1番 変ロ長調 作品38 「春」

R.Schumann / Sinfonie Nr.1 in B-Dur, Op.38 'Frühling'

J.ブラームス /

交響曲 第3番 ヘ長調 作品90

J.Brahms / Sinfonie Nr.3 in F-Dur, Op.90

入場料《全席自由》 /

前売り一般：4,000円 当日一般：4,500円

*高校生以下限定80名ご招待 (要予約、中・高生は学生証提示)

*未就学児の入場はご遠慮ください

チケット取り扱い / チケット発売日 2月1日(日)

■ 奈良フィル事務局 TEL 0743-57-2235

E-mail naraphil@leto.eonet.ne.jp

■ いかるがホール TEL 0745-75-7743

お問い合わせ /

■ 奈良フィル事務局 TEL 0743-57-2235 FAX 0743-56-5666

E-mail naraphil@leto.eonet.ne.jp



創立40周年 奈良フィルハーモニー管弦楽団 第58回 定期演奏会

指揮 / 阪 哲朗 Tetsuro Ban

阪 哲朗はヨーロッパでの客演も数多く、おもにドイツ、オーストリア、スイス、フランス、イタリアなどで約40に及ぶオーケストラ、歌劇場に招かれて成功を取めている。日本国内においても、多くのオーケストラ公演やオペラ公演を指揮しており、現在、山形交響楽団常任指揮者（2019年～）、びわ湖ホール芸術監督（2023年～）を務めている。

これまで、ビール市立歌劇場（スイス・ベルン州）専属指揮者（1992～97年）、ブランデンブルク歌劇場専属第1指揮者（1997～98年）、ベルリン・コーミッシェ・オーバー専属指揮者（1998～02年）、アイゼナハ歌劇場（ドイツ・テューリンゲン州）音楽総監督（2005～09年）、山形交響楽団首席客演指揮者（2007～09年）、レーゲンスブルク歌劇場（ドイツ・バイエルン州）音楽総監督（2009～17年）を歴任。ベルリン・コーミッシェ・オーバーでは、約20演目170回余を指揮。とりわけ、クプファー新演出「天国と地獄」、ホモキ演出「ファルスタッフ」、シューラー新演出「リゴレット」などが大きな話題を集めた。また、ウィーン・フォルクスオーパーでは、2008/09年の年末年始に、同劇場のハイライトとも言えるべき「こうもり」を指揮して好評を博した。そのほか、シュトゥットガルト歌劇場、スイス・バーゼル歌劇場、びわ湖ホール、新国立劇場、二期会、日生劇場などで多くの作品を指揮。ドイツ国内はもとよりヨーロッパ各地で指揮した舞台作品数は約70演目、通算公演回数は1000回以上にのぼる。また、オーストリアのレヒ音楽祭には毎年招かれている。

日本国内においては、全国共同制作オペラ・野村萬斎新演出「こうもり」、びわ湖ホール・中村敬一演出「ばらの騎士」で成功を収めたことが記憶に新しい。一方、山形交響楽団と地域文化の担い手として県内各地でのコンサート、スクールコンサートなどに積極的に取り組んでいる。2020～2024年にベートーヴェン交響曲全曲演奏会、2023年からは演奏会形式オペラシリーズをスタートさせている。また、インターネットでの配信も行い、新たなファンを獲得している。

京都市出身。京都市立芸術大学作曲専修にて廣瀬平氏らに師事。卒業後、ウィーン国立音楽大学指揮科にてカール・エステルライヒャー、レオポルト・ハーガー、湯浅勇治の各氏に師事。

1995年第44回ブザンソン国際指揮者コンクール優勝。1996年京都府文化賞奨励賞、1997年ABC国際音楽賞、2000年京都市芸術新人賞、第2回ホテルオーケストラ音楽賞、2004年第12回渡邊暁雄音楽基金音楽賞、2006年第26回藤堂頭一郎音楽賞、2020年京都府文化賞功労賞、2024年第75回芸術選奨文部科学大臣賞受賞。現在、京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻教授を務め、東京藝術大学や国立音楽大学より特別招聘教授に招かれるなど、後進の指導にも取り組んでいる。



特定非営利活動法人 奈良フィルハーモニー管弦楽団

奈良フィルハーモニー管弦楽団は、「奈良にプロ・オーケストラを！」と、志ある音楽家たちが集い、1985年に結成したプロ・オーケストラ。メンバーは、高度な音楽教育を受け、ソロやアンサンブル等にも活躍する他、積極的に後進の指導にもあたっている。奈良での演奏会も定着し、その音の美しさと緻密なハーモニーは、聴衆から高く評価をうけている。

奈良県主催「なら・ミュージックフェスティバル“石丸 寛”トーク&コンサート」、「オープニングフェスタ“宮川 泰”ハッピーコンサート」、「“山本直純”のゆかいなコンサート」に出演。20世紀最後の大晦日に生駒市でカウントダウンコンサートに出演、2001年「宝くじコンサート・奈良フィルハーモニー管弦楽団特別演奏会」に出演、同じく、斑鳩町文化振興財団主催「奈良フィル&オリヴィエ・シャルリエコンサート」に出演。同年6月大和郡山市21世紀記念事業「第九演奏会」に出演。以後2002～2005年、やまと郡山城ホール主催「大和郡山市民第九演奏会」に出演。また、'99年、2000年、2001年香川県仲南町に招かれる。「子と親の楽しいコンサート」を各地で開催し、青少年の情操教育にも力を入れている。日本を代表する指揮の秋山和慶氏と世界的なヴァイオリニスト、オリヴィエ・シャルリエ氏を迎えての20周年記念第15回定期演奏会は、大好評を博した。やまと郡山城ホールにおいて2002年より毎年ニューイヤーコンサートに出演。

2006年から2016年の10年間「なら燈花会プロムナードコンサート」に指揮者 金 聖響、横島勝人、阪 哲朗、矢澤定明、和太鼓奏者 林 英哲、ピアニスト メジューエワ、近藤嘉宏、仲道育代、小川典子、横山幸雄、ジャズピアニスト 山下洋輔、二胡奏者 チェン・ミン、テノール歌手 錦織健、ヴァイオリニスト 川井郁子、チェリスト 宮田 大と共演。2008年10月東大寺大仏殿前に於いて、東大寺世界遺産登録10周年記念コンサートに出演。第1回「ならピ！」に出演。2013年より奈良県主催「ムジックフェストなら」に県民一般公募の合唱団と第九を演奏。その美しく迫力ある演奏に好評を博す。2015年11月1日青島広志氏を迎えて奈良フィル30周年特別記念演奏会を開催。

'97年に第1回定期演奏会を開催し、以降、年2回のペースで定期演奏会と、月1回のサロンコンサートを開催。2021年栗江聡氏を正指揮者に2022年延原武春氏を音楽アドバイザーに迎え、さらに地域に根差したオーケストラを目指し、結成当初の「もっと楽しいコンサートを！」を今もモットーに、近畿一円の公共団体及び各種団体からも招かれ、演奏活動を行っている。

昨年奈良フィルハーモニー管弦楽団は創立40周年を迎え、また12月に奈良新聞文化賞を受賞、さらなる飛躍の年となるよう地域に根ざした活動を続けている。日本オーケストラ連盟準会員。



Nara Philharmonic Orchestra The 58th Subscription Concert

お問い合わせ/奈良フィル事務局
0743-57-2235 (Tel)
0743-56-5666 (Fax)
naraphil@leto.eonet.ne.jp (Mail)

いかるがホール
(JR法隆寺駅から南へ徒歩9分)
〒636-0123 奈良県生駒郡斑鳩町興留10丁目6番43号

